国立大学法人熊本大学



1/2

平成21年10月28日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学設立 60 周年記念事業 国際学長フォーラムを開催します

1949年(昭和24年)、新制国立大学として発足し、今年で60周年を迎えた熊本大学は、その記念事業の一環として、世界各国の交流協定大学25校の学長・副学長をお招きし、「国際学長フォーラム」を開催します。

また、大学の優れた教育研究活動を国際的に情報発信していくために、2003年から海外開催も含め毎年催されている「熊本大学フォーラム」の第7回目として今回のフォーラムを実施し、午前中の「国際学長会議」と午後の「記念講演会」の2部構成により、世界的規模で高等教育の国際化が急速に進展するなか、大学の存在意義と将来の役割について、各国の大学代表者が討論します。

「国際学長会議」は関係者のみとなっておりますが、「記念講演会」は一般の方 もご来場いただけます。ついては、取材方よろしくお願いいたします。

会議、講演会の使用言語はすべて英語となります。

当日、受付にてフォーラムパンフレットをお渡しいたします。

【熊本大学設立60周年記念事業 国際学長フォーラム(第7回熊本大学フォーラム)】

日 時 平成21年10月31日(土) 9:00~17:00

後 援 文部科学省(予定)、熊本県、熊本市、高等教育コンソーシアム熊本、 熊本留学生交流推進会議、熊本大学同窓会連合会

参加 本学協定校10ヶ国、25大学の学長、副学長 が参加予定

テーマ 「高等教育のグローバル化と国際的教育研究連携の可能性と課題について」

"Future Directions and Challenges of International Collaboration of Research and Education in the Context of Globalized Higher Education"

《 国際学長会議(午前の部)9:00~12:00》

会 場 熊本大学「くすの木会館」

(黒髪北キャンパス・黒髪2丁目40番1号)

国立大学法人熊本大学



2/2

内 容 谷口功熊本大学長プレゼンテーション(15分) 協定校からの発表「国際関連の取り組み」(15分×9大学) 全体ディスカッション(30分) 会議のまとめ(10分)

《 記念講演会(午後の部)》

時間 14:00~17:00

会 場 熊本大学「工学部百周年記念館」

(黒髪南キャンパス・黒髪2丁目39番1号)

内容 基調講演 古川憲治 熊本大学副学長(国際交流担当)

招待講演 熊本市

交流協定校招待講演

ファユム大学(エジプト)/四川大学(中国)/ スラバヤ工科大学(インドネシア)/山東大学(中国)

基調講演 檜山 降 熊本大学大学院自然科学研究科長

熊本大学は、国際学長フォーラムで来学される中国、韓国の4大学と大学間交流 協定を締結いたします。

【大学間交流協定調印式】

山東大学(中国)との調印式

(10月30日(金) 10:00~ 於:熊本大学事務局大会議室)

四川大学、吉林大学(以上中国)、朝鮮大学校(韓国)との調印式

(11月 1日(土) 9:20~ 於:熊本大学事務局大会議室)

~お問合せ先~

熊本大学研究・国際部国際課

福村・大谷

電話 096-342-2106

0 9 6 - 3 4 2 - 2 1 0 9

FAX 096-342-2130

International Presidential Forum





www.kumamoto-u.ac.jp

-THE 7th KUMAMOTO UNIVERSITY FORUM-

国際学長フォーラム

-第7回 熊本大学フォーラム-

設立60周年を迎えた今年、熊本大学は世界各国の交流協定大学約30校をお招きして、 高等教育のグローバル化と将来の役割について討論するフォーラムを開催します。

2009年10月31日(土)14:00~

記念講演会(熊本大学工学部百周年記念館)

※本講演会の使用言語は英語となります

Keynotes and Memorial Lectures

Date: Saturday, October 31, 2009 14:00~

Kumamoto University will hold a series of memorial events this year to mark 60 years since its re-establishment under the post-war guidelines in 1949.

As a part of the events, the International Presidential Forum will provide the premier meeting and keynote session, and the Forum panelists will discuss an array of agendas for international higher education.

Special attention will be paid to the changing scope and responsibilities of higher education institutions in the world, and the Forum aims to envision the pathways towards the future of the sector.

